後継者対策部主催

クリスマスパーティ

12月8日(日)午後から

ところ 支部事務所

楽しい企画を用意しています。ご家族そろ ってご参加ください!!

松竹分会がトップ

全都で健診受診率(2012)

昨年の健康診断の受診率で松竹分 会が全都でトップになった。しかも 受診率が7割を超えたのは松竹分会

だけだという。正直、驚いた。とい

うのも健康診断に対し分会として、

特に力を入れていないからだ。た

だ、住宅デー、署名、ハガキ要請な

どで結果として他分会より良い数字

になっているときが多いのが松竹

60人を切る小さな分会だが、花の

松竹と言われた時があり、その伝

統?が今も生き続けていると思う。

ベテランから若手へとうまく連なり 合い、その結果が全都でトップにな

松竹分会 阿部 史夫

記念学習会

0名から20

ったのだと思う。

だ。

ンの仲

けんせつ

瀬久留米

東京土建一般労働組合 清瀬久留米支部機関紙 〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17 TEL 042-473-8751

発 行 所

FAX 042-473-8753 URL http://www.tokyodoken.info/ 発行者 片 見 編集者 山内高広

秋

の拡大月間

んなで協力して 元塩分会

半戦に向けて英気を養いました。

間決起を行いました。みんなで楽しく、

10月の後

9月下旬から10月頭にかけて、各分会が拡大中

BBQを行いました。大人 ば渓谷国際釣場でマス釣と 22名子ども5名。 9 月 22 日 (日) あしがく げました。

の声もありましたが、 はみんなで協力し、 方が初参加してくれま 餌の虫や魚が触れないと

 $\widehat{\mathbb{H}}$

会で協力して乗り

れないほどのマスを釣り上 拡大後半戦も分 食べき そこ が参加、

勉強しました。 拡大中間決起では、 詳しい説明で真剣に

牛肉の焼肉、 ぷりの大根おろしと ンマの塩焼きをたっ 緒に、ビールでカ

月

29日、

り、ワイワイ、 参加してもすぐにう 組合の仲間で集ま 初めて一人で ガヤ

食べきれないほど釣ったマス釣り



すぐに打ちとける顔

る。そんな東京土建 ちとけて仲間になれ

元塩分会 杉村

清里 すぐに仲間になれる

間決起に集まろう!!と14名 師高江洲さんによる分かり 分会では9月22日 清瀬診療所の看護 健康教室&拡大中 してほし 拡大頑張ろう!で散会 いと願いを込め

松竹健康教室 清里分会

元塩分会

カネ子

講師に髙江洲 康教室を開催しました。 悩みを抱えている仲間から 室となりました。 ことが出来て、 アドバイス、一緒に考える さんを迎え平労会館にて健 加者は13名で、 笑いの絶え 同じような りの料理が卓上にあふれ、 てみんなでハワイに行こ 菅野分会長の なごやなに会は進み最後に が分会センター

中身の濃かった健康教室



41名の結集で目標達成へ

導のあと懲 酒をくらい おなじみ

拡大達成了 松竹分会

ました。

陽

9 月 29 日

(日) 南沢水辺

三葉分会

りもせず大 し、健康指 分会の中間

結集力で達成へ

引き締めなおした。

青空分会 橋口

昌之

ハワイに

青空分会 行こう

間決起が行われた。持ち寄 九月二十六日に秋の拡大中 久しぶりさんまで21人 さんからお に集まり、 公園内を走り回り大喜びで 達は、たくさん食べた後も 名の参加で、中でも子ども い参加者に仲間への勧めな した。一方、組合員達は若 た。組合員・ご家族含め41 公園で、BBQを行いまし

ど、拡大への行動に努めて いました。 前半は不調でしたが、後

で、達成へ向け成功させま 半は分会みんなの結集力 しょう。

「拡大達成し

三葉分会 前川

会の仲間はみんなで楽しく

に盛り上がりました。友の

交流し旺盛な運動を展開し

て、いつまでも元気で組合

シニア友の会10周年記念 い友の会 素晴らし 仲

やシニア

活動を頑張っています。

いままで組合運動を会員

の会役員、書記局と一緒に で開催しました。シニア友 きました。本部委員長、本 容にしようと一同努力して 10周年記念にふさわしい内 の会結成10周年を支部会館 **部シニア友の会会長等のメ** 清瀬久留米支部シニア友 法を学びま で分かり易く憲 式にしてユーモアたっぷり として平和憲法をクイズ形 れまで組合活動 (組合員数30 懇親会は、 友の会での思い 0名になった話)

ました。

プレゼントとしてお渡しし

長寿を願う記念品の手ぬぐ の想いでを綴った記念誌と

い等、参加者の皆さんには



思い出話で盛り上がる

謝します。 委員長をはじめご参加い

念誌、記念品の作成にも感 とう。書記局の協力で、記 ただいた皆さん、そして友 って清瀬久留米支部の発展 の会の仲間のご協力ありが 次回は20周年記念に向か

を願って、共に頑張りまし

南町分会 宇田川

投稿

多摩北ブロック青年部 被災地ボランティア

ある「高久第四応急仮設住 喜ばしいことの 9月21日(土)〜22 福島県いわき市内に 裏を一言

2020年の東京五輪が決まり日本中 が喜びで沸き返っている。少しは景 気が良くなるかもしれないが、小生 などは七年後の開催を見ることがで きるか心配である。もし可能なら二 度目になるので喜ばしいが、良いこ

東京都はオリンピックに向けて金 を集めるため、都立小児病院を少な くしそのお金を備蓄しようとしてい る。それによって、多くの母親が迷 惑を被っていることを忘れてはなら ない。

とばかりではない。

北浅分会 小野 定康

環として住宅デーを開催さ 宅」にて、被災者支援の一 を出し尽くしやり抜くこと 名の仲間でそれぞれが全力 料、工作教 豚汁、もち そして仮設 ができる、 なるよう、 取り組みに に喜ばれる 住宅の人達 「焼そば、 、ース」の 喫茶ス 包丁研 なって盛り上げられた事が

さん。 23

盛りだく

内容は

恵まれ200名近い来場者 会場内でビンゴ大会を行っ 自治会の方が「是非、一緒 がありました。仮設住宅の コーナーを用意しました。 てくれました。皆で一体と にイベントを行いたい」と 住宅デー当日は、晴天に

西東京、村山大和、東村

せて頂き

ました。

総勢23名の仲間が集ま

多摩北ブロック青年部5

清瀬久留米、

は無く、 遅れていることや放射能の 影響についても不安を抱え ており帰ることが出来な いるが、病院や商店も側に 町は避難指示解除となって と思う瞬間でした。 と懇談会を行いました。 |私達が住んでいた、広野 終了後は、自治会の方達 インフラの整備が

っていただき、バスが見え して渡してきました。

何より取り組んで良かった りがとうございました。 となっています。 このような事を取り組んで でにない盛り上がりだっ はとても優しい。 い人もいますが、 くれるのが私達の生きがい 皆さんが来てくれて、 顔のこわ

らは、お礼の言葉と売上金 きました。また、青年部か 59、350円をカンパと と心温まる感謝の言葉を頂 仮設住宅を後にする際 本日はあ 皆さん心

たくさんの人達に見送

集まるのも初めて、これま

のも珍しく、こんなに人が らは「これだけ天気が良い てくれました。茂木さんか

」と住民の現状を語っ

日(日:祭り最終日)の一は、結果としては、9月22 八月末、急な出店要請で 東久留米東部地域センター祭り な板削り」は会場の状況に 当初の計画にあった「ま

と「住宅相談」を行いまし 成果は、 研ぎ上げた かと思う。

なって盛り 上)。一体と

名+支部木田書記の参加で

のみ、北浅分会から13

配慮し中止。

「包丁研ぎ」

上げ交流

(写真下)

がない青年 準備に余念

部員(写真

きなかったことで、お祭り 会場では組合の宣伝がで

への協力、 参加、運営

必ず行う住宅相談(写真上) 時間を空けて集まった分会の仲間(写真下) のが、反省 にはもう少 佐久間 次に活かせ 見でした。 会で出た意 る、という 必要があ 北浅分会 ればと思い し検討する 博

包丁37本、住宅相談0件-

ての参加としてはこの程度 たのかわからないが、初め 事前のPRがどんなだっ 英雄ポロネ ーズ」、作

パン、フレデリッ 曲は言わずと知れたショ ことである。 ポーランド風とかポ ョパンである。 て、この曲はフラン いの前に踊る踊りの ーランドで兵士 ク・フランソワ・シ ポロネーズと そし 立が戦 は、

なのである。心沸き立 なものから生まれた曲 という強い執念のよう あるにもかかわらず、 つ勇壮で力強い曲調で ランドを取り戻したい 心の底に「なにか」晴 い、一日もはやくポー た。祖国に帰りた

厚生文化部主催 将棋大会

10月27日(日) ところ 支部事務所3階

支部の仲間の結集の場として、支 部厚生文化部主催の第二回将棋大会 を開催します。

分会内で、将棋を指す仲間同士で 声を掛け合って、ぜひ参加して下さ

上位入賞者には素敵な 賞品も用意しています。



ランド人であると名乗る

いうことも、

自分がポ

あった。 ことも許されない時代が 音楽活動を続けるた

にフランスに逃れ成功を

収めた彼だったが、祖

国を思わない日はなか

ランド ョパン 国のショパン

祖国を奪うようなことは は悲しいことであり、 れないものが残る。 祖国を奪われること

を想って書いた曲で

が、祖国ポー

スに渡ったシ

決してあってはならない たくない。 も私はどちら側にも立ち ことだと思う。少なくと 青空分会 本 尚之

の紛争が起こ

その結

ポーランドを祖国と り、 みれば…」とは一線を画

麻呂の「天の原ふりさけ 愁ではない。阿倍仲 ある。だが単なる郷

> られました。 青年部担当書記

れている姿に胸 なくなるまで手

を熱くさせ をふってく